

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
妻北地区

平成29年3月

宮崎県西都市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見		
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性			
指標1	記紀の道・逢初川歩行者専用道路の利用者数	延人/年	2,971	8,000	12,932	確定 見込み	● ○	○	あり なし				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	記紀の道や四阿等の整備や周辺の広場の整備に伴い利用者が増えている。	
指標2	桜川の通行者数	延人/年	63,875	100,000	56,210	確定 見込み	○ ●	×	あり なし	●	69,715	H29年2月	×	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	少しずつ整備が進むにつれて、近所の方が植栽の管理を自主的に行うなど利用者増に繋がる兆しがある。
指標3	住民の当該まちづくりの満足度	%	75	80	83	確定 見込み	● ○	○	あり なし					<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	記紀の道と連携したアプリや、案内マップの作成等市民への情報発信がまちづくりの認知度向上に寄与していると見られる。
指標4	市民グループによるまちづくり活動	延人/年	464	700	665	確定 見込み	○ ●	△	あり なし	●	672	H28年5月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	市民グループ活動とフォローアップを連携させ、情報交換を行いながら引き続き活動支援を行っていきたい。
指標5						確定 見込み			あり なし					<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見			
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性				
その他の数値指標1	まちなかギャラリー夢たまごの来場者数	人/年	14,057	/	10,519	確定 見込み	● ○	/	あり なし		9,644	H28年5月	/	想定以上に集客が落ち込んだ	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	1年を通してイベントを開催し、まちなかへの集客に大きな効果を与えている。今後はさらに集客効果を高めるため、イベントとの連携を検討が必要。
その他の数値指標2			/	/	/	確定 見込み	/	/	あり なし				/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		
その他の数値指標3			/	/	/	確定 見込み	/	/	あり なし				/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	西都原古墳群と中心市街地を結ぶ良好なネットワークの維持	地域住民による、清掃活動、花の植栽、木の植樹。	新規住民の参加が見られた。	今後も引き続き、活動の支援を行う。
	地元、学識経験者、行政、専門家等が一体となったまちづくり組織の維持	歴史を活かしたまちづく推進委員会、委員会に参加できなかった住民を対象にゆめ会議を開催した。	新規住民の参加が見られ事業の情報発信に繋がった。	引き続き新規住民の参加を目標に開催する。
	市民が参加するまちづくり体制の維持			29年4月号の広報紙および地域づくり協会の広報紙で活動の情報を発信する。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	西都原古墳群と中心市街地を結ぶネットワークの未整備区間の整備推進	道路や歩道の整備を実施した。	桜側歩行者専用道路では、住民が自主的に花の管理を行っている。	近隣住民への事業内容を周知しながら、維持管理等も含めて意見交換を行いながら整備を進める。
	観光客および高齢者が利用しやすい環境整備			観光客のニーズ等の調査を行い、利用しやすい公共交通機関ネットワークを検討する。
	歴史や文化を活かした更なるまちづくりの推進			伝承地等での環境整備や案内サインの設置についてワークショップで合意形成を図りながら整備を進める。
	市の魅力発信、市内観光地の回遊性の向上 周辺市町村との観光面での連携			西都原で行われる花まつりと連携したスタンプラリーが計画されていた。こんごも、西都原や中心市街地と連携したイベントの支援を行う。
	中心市街地における目的地としての魅力向上			中心市街地のワークショップの開催や連携を強化する。
参加組織のさらなる拡大、それぞれの組織の連携強化				まちづくりに関する事業に取り組む団体の把握をして、連携を強化する。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項